



(参考仮訳)

プレスリリース No. 10/08  
即時解禁  
2010年1月14日

国際通貨基金 (IMF)  
米国・ワシントン DC

### 韓国・IMF、ハイレベル国際会議共同開催へ

大韓民国政府並びに国際通貨基金 (IMF) は本日、2010年7月12、13日の両日にわたり韓国・ソウルにて、アジアに関するハイレベルの国際会議を共同開催することを発表した。同会議では世界各国の要人が、アジアの経済ダイナミズム並びに国際レベルでの政策立案において高まるアジア地域の役割について検証を行う。

同国際会議には、財務大臣、中央銀行総裁、その他政府高官をはじめ、財界人、金融市場専門家、研究者、市民社会代表、ジャーナリストなど著名人を含む300人以上のハイレベルな参加者が集う見込みである。

ストロスカーン氏は「アジアは重大な岐路に立っている」と指摘した。「危機後の世界においてアジアは、その強固なマクロ経済の実績を活用すると共に、世界経済が直面している政策課題に関する議論に積極的に参加する能力を有している」。さらに同氏は「転換期」というテーマのもと同会議は「今後10年でアジア及び世界経済が直面する課題或いは機会に関する各々の洞察を、全ての主要な関係者が共有する重要な機会となるだろう」と述べた。「またこの会議により、アジア地域のグローバル・パートナーとして貢献するとしたIMFの新たなコミットメントが明らかになるだろう」

ストロスカーン氏は、韓国政府当局が同会議の共催について合意したことを歓迎した。「2010年のG20枠組みの議長国として韓国は今年、IMFの改革をはじめ世界の経済政策アジェンダの形成において、重要な役割を果たすだろう」と述べた。

同国際会議の主要テーマは以下4項目である：

- 率直且つ建設的に過去の経験の教訓を活かしつつ、世界経済の強固な回復を支えるというアジア共通のビジョン並びにアジェンダを表明する

- 経済運営におけるアジアの成功を紹介すると共に、他地域への教訓を明示する
- アジアの経済成長モデル、今後の見通し、さらに世界経済への影響を検証する
- IMFをはじめとする国際社会におけるアジアの役割について協議する

アジア経済の多様な様相を認識したうえで、同会議は先進、低・中所得国に関わる事項も採り上げることになる。同会議の参加組織の代表者をはじめ様々な有力者の対話を通じ、以上の事項を検証していく予定である。